

議案第1号

令和8年度東広島市地域公共交通会議予算（案）について

令和8年3月25日提出

東広島市地域公共交通会議  
会長 塚井 誠人

1 提案理由

令和8年度の東広島市地域公共交通会議の予算（案）について、承認を求めるもの。

2 東広島市地域公共交通会議予算（案）

別紙「資料1」のとおり

## 令和 8 年度 東広島市地域公共交通会議予算（案）について

東広島市地域公共交通会議財務規程第 2 条の規定に基づき、令和 8 年度東広島市地域公共交通会議に係る歳入歳出予算を調製した。

## ○ 収 入

(単位：千円)

款	項	説明	金額	備考
1 負担金	1 負担金	東広島市都市交通計画の進捗管理等に伴う負担金	3,696	市負担金
		地域公共交通運行改善業務負担金	9,460	
		会議運営に係る負担金	2,003	
2 国庫支出金	1 国庫補助金	R 8 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（※）	22,730	
3 繰越金	1 繰越金	R 7 - 8 年度繰越金（事業繰越）	11,418	資料 1-4
		R 7 - 8 年度繰越金（残金繰越）	20	
4 雑入	1 雑入		1	預金利息
合計			49,328	

## ○ 支 出

(単位：千円)

款	項	説明	金額	備考
1 運営費	1 会議費	交通会議等	1,071	委員報酬等
	2 事務費	交通会議事務費	953	振込手数料、切手代等
2 事業費	1 事業費	東広島市都市交通計画の進捗管理等	3,696	資料 1-2
		地域公共交通運行改善業務	9,460	資料 1-3
		黒瀬地区共創型交通プロジェクト	11,418	資料 1-4
	2 補助金	R 8 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（※）	22,730	
合計			49,328	

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国庫補助金）は、R 6 年度に補助対象者を東広島市地域公共交通会議に変更を行っているため、同補助金は交通会議に入金されることとなる。交通会議入金後に、各運行事業者等へ補助対象路線の交付決定額振り込み手続きを行う。

国庫補助金



交通会議



各運行事業者等

## 東広島市都市交通計画の進捗管理等

### 1 要 旨

令和 6 年 6 月に策定した東広島市都市交通計画（以下、「都市交通計画」という）の進捗管理等について、PDCA を実効性あるものにするため、交通会議事務局での事務作業をコンサルタントによる支援を得て行うものである。

### 2 令和 8 年度予算額

収入：負担金 3, 696 千円（東広島市からの負担金）

支出：事業費 3, 696 千円

### 3 事業の背景

(1) 都市交通計画の PDCA サイクル推進の視点

- ・ 都市交通計画の PDCA サイクルの強化が必要
- ・ 市交通施策の発信と外部との双方向コミュニケーションの強化が必要
- ・ 国の運輸政策が複雑化する中、職員の配置換えによっても交通施策の継続性や一貫性が損なわれない対応が必要
- ・ 都市交通計画と国のフィーダー補助との連動化への対応が必要

(2) 交通会議運営の視点

- ・ 交通会議の事務量増大（交通会議の準備、会計処理など）
  - 都市交通計画と国のフィーダー補助の連動化では交通会議が補助金受皿となる。

### 4 事業内容

東広島市都市交通計画の進捗管理（PDCA サイクル）を、交通施策運営全体に係るマネジメントとして捉え、専門的知見をもとに計画管理・評価等を実施する。

#### 【業務内容（案）】

- ① 都市交通計画の進捗管理
- ② 都市交通計画と国のフィーダー補助の連動化
- ③ 交通会議の運営
- ④ 分科会の運営（運賃、BRT）
- ⑤ 市民参加型プラットフォーム運営（SNS）
- ⑥ 交通事業者会議の運営

## 地域公共交通運行改善業務

### 1 事業の概要・目的

#### 【地域公共交通運行改善業務（豊栄地区）】

- ・利用が低迷する市委託コミュニティバス「豊栄そよかぜ号」について、住民組織を中心に地域住民とのコミュニケーションを重視しながら運行改善と利用促進を行い、持続可能な運営を目指す。

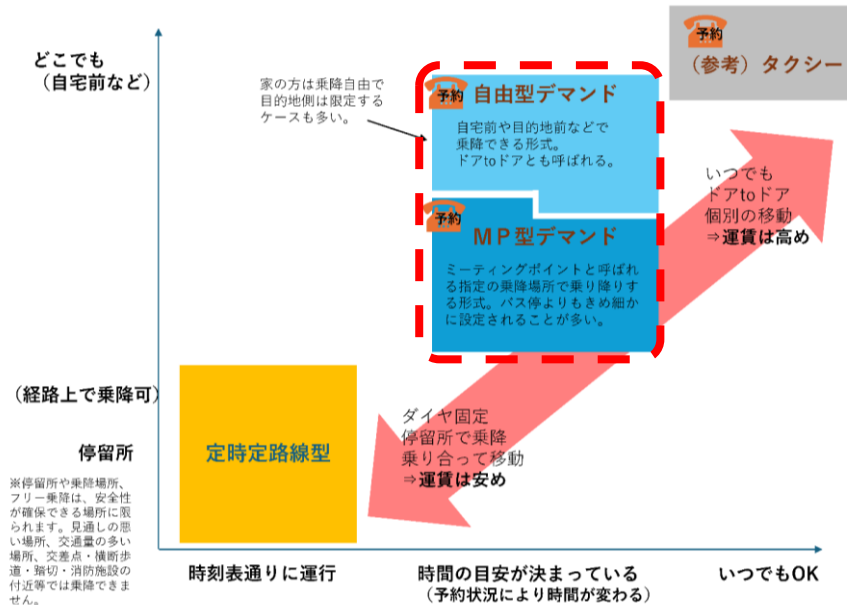


図1 運行形態の詳しい分類と運賃の傾向

資料:令和6年11月開催 公共交通セミナー『車がなくても安心してらせる豊栄を目指して』

#### 【地域公共交通運行改善業務（豊栄地区以外）】

※黒瀬、入野、小谷、志和、福富ほかを幅広く想定

- ・地域が主体となった既存の地域交通の利用促進のための伴走支援
- ・潜在需要の掘り起こし、運行計画、実証運行に係る経費の支援など、運行組織への伴走支援を行う。

### 2 令和8年度予算額

収入：負担金 9,460千円（東広島市からの負担金）

支出：事業費 9,460千円

### 3 業務内容（案）

- ① 業務計画準備
- ② 住民の意向調査
- ③ 運行計画内容の具体化
- ④ 周知方法及び利用促進策の検討
- ⑤ 実証運行に向けた準備支援
- ⑥ 地域における検討会議の設計・運営支援
- ⑦ 報告書作成

# 黒瀬地区共創型交通プロジェクト

## 1 事業の概要

### 東広島市と広島国際大学の取組み概要

#### 連携の背景

- 深刻な乗務員不足によるバス路線の維持が困難  
→ 地域住民の移動手段確保
- 大学が独自に運行を行っている貸切バス（スクールバス）の運行継続の限界（費用面等）  
→ 学生の移動手段確保
- 大学が立地する黒瀬町内で整備をしている交通結節点の活用（R7年度末供用開始予定）  
→ 交通結節点を中心としたバス路線の再編（利便性と効率性の向上）

#### 連携の目的

- 黒瀬町内の大きな交通需要である広島国際大学と交通事業者と共創（連携）することで、**地域公共交通の維持・強化を図るとともに、移動需要の増加につなげ、持続可能な公共交通網を構築**
- **継続的な学生の移動手段の確保**

#### 方向性①

- 貸切バス（スクールバス）から一般路線（乗合）への移行検討

#### 方向性②

- **学生や地域住民が使いやすい運賃制度・体系の構築**
- 新たな運賃制度に対する決済システムの構築

## 2 令和8年度予算額（令和7年度からの繰越）

収入：負担金 11,418千円（東広島市からの負担金）

支出：事業費 11,418千円

### ■ 業務契約状況（R7年度既契約）

- 『黒瀬地区共創型交通プロジェクト支援業務』
- (株)福山コンサルタント中四国支社／10,934,000円／工期 R7.7.11～R8.3.31

#### 繰越理由

- 黒瀬地区の共創業務に関連し関係者との折衝に不測の時間を要したため、翌年度へ繰り越し、業務を継続する。

### 3 状況

貸切バス（スクールバス）から一般路線（乗合）への移行を検討するよう、R6年度から同大学と連携を図っているところ

R6年度	委託業務にて検討を開始
R7年度	再度課題を整理し、方向性を確認 (並行して、結節点の整備に伴って、既存の路線バスを再編するため、バス事業者と市との間でバス路線再編の方向性について整理)
R8年度	R7予算を繰り越し、持続可能な学生の移動手段の確保について、バス事業者を交えて本格的に協議する。 学生への通学定期用支援（貸切費用の振替）などの運賃施策についても協議

### 4 広島国際大学とバス各社の運行状況

#### 広島国際大学へのアクセス

学生の通学や生活を支援するため、大学独自で3路線のスクールバスを運行しています。  
運行には、大学運転手・バスのほかに、一部民間バス会社に運転手・バスを委託しています。

運行バス	目的	区間	料金	便数
スクールバス (授業期間のみ、予約制)	路線バスを補完する	JR矢野駅-東広島キャンパス	600円	平日：9本 (4月のみ10本) 土曜：4本
ユニバーサルキャンパスバス (授業期間外は縮小ダイヤ)	キャンパス間の交流や課外活動などを支援する	東広島キャンパス-呉キャンパス	無料	平日：13本 土曜：3本
黒瀬町内シャトルバス (授業期間外は縮小ダイヤ)	学生の生活等を支援する	東広島キャンパス-東広島キャンパス周辺(約3km圏内)	無料	平日：24本 土曜：15本

